

## 倭の五王 隠された天皇家のスクन्दル

戸室訓行

### A いままでの主な比定説をまとめると、

讚=履中天皇、仁徳天皇、応神天皇 の各説

珍=反正天皇、仁徳天皇 の各説

済=允恭天皇 説

興=木梨軽皇子、安康天皇、市辺押磐皇子 の各説

武=雄略天皇 説

となります。

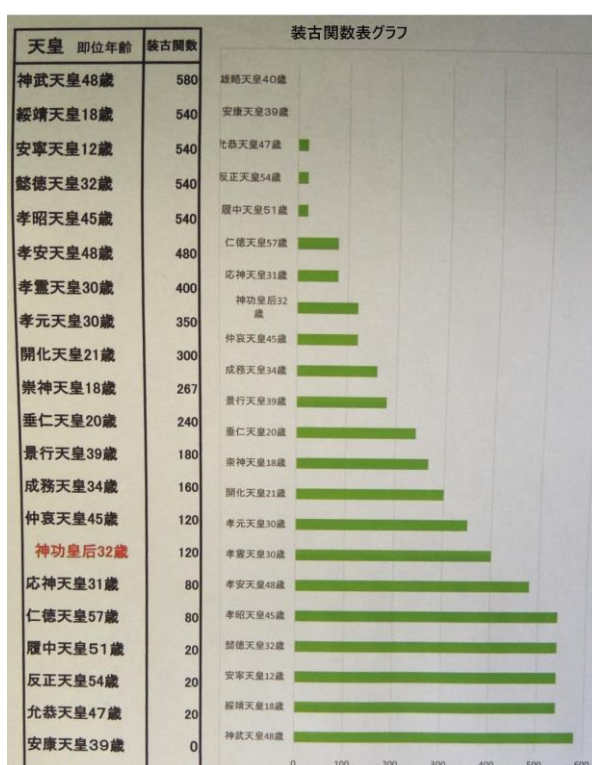
済=允恭天皇、武=雄略天皇は各説とも共通なのですが、残る三王については、意見が分かれています。なかでも一番難解なのは世子 興とはだれかです。

世子 興とは穴穂皇子（”安康”天皇の漢風諡号は奈良時代 淡海三船の一括撰進）、木梨軽皇子、市辺押磐皇子？と諸説ありますが、

穴穂皇子は世子であったことはありませんし、市辺押磐皇子は履中天皇の皇子、”軽”は”興”に通じるので年代的に矛盾しますが、やはり世子であった允恭天皇の第1皇子 木梨軽皇子が世子 興に該当するのでは。

添付「復元日本書紀 『宋書』と記紀の比較表」の様に年時があわない混乱は木梨軽皇子（同母妹の軽大娘皇女と情を通じた）と穴穂皇子（義理の息子に殺された）兄弟の大スクन्दルが影響しているとしか考えられません。

復元 日本書紀	退位年	『宋書』と記紀の比較			
		西暦	宋書	日本書紀	古事記
仁徳	419	412			
履中		421			
反正	425	425			
	431	427	讚		仁徳没
		432			履中没
		437		允恭	反正没
允恭		438	珍		
		443			
		451			
	453	453	済		
安康		454		安康	允恭没
	456	456			
		457			
雄略		462	興		
		478	武	雄略	
	479	479			
清寧		480			
		484		清寧	
顕宗		485			
		487		顕宗	
		488			
仁賢		489		仁賢	雄略没
		498			
武烈		499			
		502		武烈	



## B 雄略天皇が世子 興を創った。

淡海 三船（オウミ ミフネ）は五世紀の天皇の諡号に反正とか雄略 という他と違う意味深な政治的漢風諡号を付けました。

奈良時代 多数の書物を読破し文学や歴史に通じ 外典・漢詩にも優れていた 淡海 三船は、多遲比瑞齒別 天皇を反正（正しい状態にかえすこと＝住吉仲皇子の反乱鎮圧）とし、大泊瀬幼武命の漢風諡号を雄 略 としましたがこの 略 の意味は、

- 一、 大事なところだけ残して、他をのぞき去る 簡単にする はぶく。
- 二、 正式な形を簡単にする。

すなわち 体は名を表す（実体は名前に表れる）、雄略天皇は当たり前のように、国際的評価を落とさぬためスキャンダルを※1のぞき去り 、外交上※2 正常を装って 世子を廃され自決した木梨輕皇子の名のもとに 宋 に 462 年遣使した…とみえています。

※1 皇位継承権をもつ五人の兄弟や従兄たちを粛清したのだから外国に偽書を送ることはなんでもないこと。

※2 前例あり イレギュラーな履中 反正 允恭の兄弟間 天皇譲位 6 年協定があったことを隠すため、438 年 允恭天皇は倭王珍＝（反正天皇 431 年譲位 438 年崩御）名義で宋に遣使。なお、『宋書』には 430 年の 倭国王 の遣使を伝えているが、この遣使は 珍と考えられる。よって遣使した王は「倭国四王」である。